

8 避難所関係その他の役割

(1) 簡易・仮設トイレ等の設置 下水道部

震災当日の夜から各避難所へ簡易トイレ等を順次運搬した。

(ア) 仮設トイレ(工事現場で使用するようなトイレ)

66基を稼動して **25箇所**の避難所に延べ**77基**設置・・・別表①

- ・ 震災時、観光課が花見山シーズンに備えて押さえていたレンタル用トイレを融通した。観光課が業者に手配し設置、必要に応じ移動設置させていた。

〔手配〕震災当初は観光課で手配、後に下水道総務課と連携して実施

(震災当初は、商工観光部と下水道部がそれぞれ動いていたため、災害対策本部会議において調整窓口を下水道部に1本化した経過がある。)

(イ) 大型組み立て式トイレ(汲み取りタイプ、パイプで枠組みしテントで覆ったもの)

14基を**5箇所**の避難所に設置・・・別表②

- ・ 積み下ろし、設置にはユニック車が必要であったため、土木業者に依頼。

〔手配〕要請を受け下水道総務課で手配。

予算は危機管理室、支払伝票処理は商業労政課

(ウ) 簡易トイレ・・・別表③

124基を**66箇所**の避難所に設置

〔手配〕要請を受けて下水道総務課で手配、物は本庁東側で保管。

下水道総務課の職員が中心に公用車で避難所へ配送

※ 上記(ア)から(ウ)全部で**75箇所**の避難所に仮設トイレ等を設置

仮設トイレ設置状況

別表①

入手台数		39	残り台数		36
設置箇所	現在台数	設置台数	撤去台数		
合計	3	77	72		
飯坂学習センター	0	2	2		
飯野地区体育館	0	2	2		
鎌田集会所	0	1	1		
競馬場	0	9	9		
信夫学習センター	0	4	4		
清水学習センター	0	2	2		
清水小学校	0	2	2		
信陵学習センター	0	2	2		
清明小	0	5	5		
第1小	0	2	2		
橘高校	0	11	11		
土湯温泉町支所	0	1	1		
テルサ	0	3	3		
パルセ	0	3	3		
福島高校	0	5	5		
蓬萊小学校	0	2	2		
北信支所	0	2	2		
保健福祉センター	0	2	2		
南向台小学校	0	2	2		
明成高校	0	4	4		
渡利支所	0	1	1		
渡利幼稚園	0	1	1		
故障	0				
南体育館	0	4	4		
あさひ台集会所	3	3			
吾妻の駅 ころら	0	2	2		

別表②

大型組み立てトイレ(汲み取りタイプ)

設置場所	設置数	残	設置日、時刻	
南向台小	3	16	13日	13:30
パルセ	1	15		16:30
パルセ	4	11	14日	10:00
三中	3	8		11:00
二中	2	6		11:30
蓬萊小	1	5	15日	13:00
計	14			

簡易トイレ配布箇所一覧

別表③

No	閉鎖	施設名	個数	回収	No	閉鎖	施設名	個数	回収
1		吾妻学習センター	1		36		鳥川小学校	4	
2		吾妻学習センター吾妻分館	1		37		鳥谷野小学校	1	
3		飯坂学習センター	4		38		永井川集会所	1	
4		飯野学習センター青木分館	1		39		なごみの里(太平寺)	1	
5		飯野支所	1		40		西学習センター	3	
6		大森1区集会所	1		41		西根中	1	
7		大森小学校	1		42		庭塚集会所	1	
8		音楽堂	1		43		野田小学校	2	
9		鎌田集会所	1		44		東湯野ふれあいセンター	1	
10		北沢又小学校	1		45		平石小学校	1	
11		競馬場	2		46		福島テルサ	1	
12		桜の聖母高校	4		47		蓬萊学習センター	2	
13		信夫学習センター	1		48		蓬萊小学校	3	
14		信夫支所	5		49		蓬萊中学校	3	
15		清水学習センター	1		50		北信学習センター	2	
16		清水小学校	3		51		北信支所	2	
17		清水中学校	1		52		保健福祉センター	8	
18		市民会館敬老センター	2		53		ポリテクセンター	1	
19		下野寺公会堂	1		54		三河台小学校	4	
20		正福寺(本内)	1		55		水保小学校	1	
21		信陵学習センター	1		56		南向台小学校	1	
22		摺上川インホセンター	3		57		もちずり学習センター	1	
23		杉妻学習センター	1		58		盲学校	2	
24		杉妻支所	2		59		本内集会所	1	
25		青少年会館	1		60		森合小学校	1	
26		清明小学校	1		61		湯野小学校	1	
27		瀬上小学校	1		62		吉井田学習センター	1	
28		第1小学校	8		63		渡利学習センター	2	
29		第2中学校	3		64		渡利支所	2	
30		第3小学校	3		65		渡利小学校	2	
31		第3中学校	2		66		渡利幼稚園	1	
32		第3幼稚園	1						
33		大豆塚団地	1					58	
34		橘高校	3					66	
35		土湯支所	1					計 124 基	

(2) 汲み取り・ごみ回収等 清掃管理課

ア 仮設トイレの汲み取り

防災計画では環境部が仮設トイレを設置し対応することとなっているが、今回の震災は、設置は下水道部で設置、汲み取り清掃等を清掃管理課で対応した。

本来し尿汲み取りは、許可業者により地区割で収集が行われているため、地区(許可業者)ごとに収集業務を依頼するべきであったが、震災後の状況(燃料不足等)により日東産業㈱以外では収集が困難な状況にあったため、日東産業㈱に全て依頼することとなった。

収集は仮設トイレ設置後、原則1日2回で状況により随時収集を行ったが、水不足や避難者の使用方法が不慣れのため、便槽に少し汚物が蓄積するだけで汲み取りの依頼が多くあり、実際に収集に行くと便槽の3分の1も溜まっていないことが数多くあった。また、設置者が市・県・自衛隊などに分かれており、どこにどれだけ配置され誰が設置したかなどが分からないなど混乱が生じた。

イ 避難所のごみ回収

避難所の担当者からごみが溜まっているとの連絡を受けてから収集の段取りを始めたため、家庭ごみの収集とは別に業者に発注する必要があった。震災後の状況等(ガソリン不足等)から対応できる業者が八巻興業㈱だけであったため随意契約により委託し収集を行った。5月以降は避難所をごみ集積所に組み込み、家庭ごみ同様に収集をした。

ウ 家庭ごみ収集

家庭ごみの収集は委託業務により各協業組合で行っており、基本的には震災後も通常通り収集できたが、燃料は各協業組合で手配できない部分があったため緊急車両扱いとし、市で手配した部分もある。また、放射能を心配した委託先の従業員や家族より苦情等の電話等があった。

不燃ごみはあらかじめクリーンセンターの破砕機が破損したことにより受入れができない状況があり、各地区4月の1回目収集分を休止し広報等を行った。しかし、結局誤排出分の収集を行うこととなったため、現場等は混乱し不燃ごみを排出しなかった市民の方々より、正直者は損をする等苦情の電話が相次いだ。

また、茂庭地区については国道の通行止めにより委託収集が困難となり直営による収集や収集回数減らすなどして対応した。

エ ふれあい訪問収集

ふれあい訪問収集は市直営により実施しており、震災後も通常通り実施し、通常収集サイクルの中で入院中・ショートステイ利用者などを除き、全ての対象者の安否・所在・避難先を確認した。

課題としては震災後、飲料水や食料提供の要望が数多くあり、後日、健康福祉部による在宅要援護者生活必需物資給与事業が始まったものの、震災当初の初動体制が重要であると考えられる。

オ し尿汲み取り

し尿の汲み取りは許可制により業者が行っており、震災による影響はほぼなかったが、一部の業者からは市でガソリンを手配できないか相談があった。